

## 山東盆地の風景を考えるワークショップの 第5回（最終回）を開催しました！！

山東盆地の景観まちづくりをどのように進めていくか、  
について話し合う景観まちづくりワークショップの第5回  
（最終回）を、12月6日（土）に伊太祁曽神社で開催し  
ました。

今回は、これまでのワークショップで話し合ってきたこ  
とをもとに、山東盆地の風景の何を守り、どういう地域に  
していきたいかを話し合い、「山東盆地の風景づくり5ヶ条」  
としてまとめました。



### ワークショップ

参加者が3つの班に分かれて、話し合いました。

#### A 班

##### ① 田んぼ・山並みを重視する

- ・和歌山市内で、鉄道も道路もあり便利なのに、こ  
んなに緑豊かな空間が残っているというのは驚き。山  
東を訪れる人からも、よく言われること。
- ・山東は、住宅地の海の中に浮かぶ、緑の島のような  
もの。不思議で貴重な空間。
- ・自然に触れ合いながら、自然に近い暮らし、田舎っ  
ぽい暮らしができるのがいい。
- ・田んぼは、雨が降った時に貯水する役割もあり、水  
害を防いでくれる大切な存在でもある。

（取り組みのアイデア）

- ・これからも、貴重な緑を印象づける、田んぼ・山並みを守っていく。

##### ② 季節感を大切に

- ・季節ごとに、里山の色合いが変わっていく。春は山がほんのりピンク色になり、「山が笑う」。  
夏は青々とする。秋は紅葉に色づく。里山は広葉樹が中心なので、表情が豊か。
- ・季節による周りの山の表情の移り変わりを感じとりながら暮らすのが、山東らしい。

##### ③ 身近な歴史を受け継いでいく

- ・歴史のある神社から、身近な祠、歴史ある木、土地のいわれや字名などが残っている。



- 神社などは、今でも観光客が来ているので、これからも人を惹きつける資源として守っていく。
- 住民が地域のことを誇りに思うためには、土地のいわれなどの身近な歴史を知ることが大事。  
(取り組みのアイデア)
- おじいちゃん・おばあちゃんくらいの世代がこどもだった頃の経験など、少し昔の時代の話を聴いて、その風景に想いを馳せる⇒地域への愛着が高まる。

#### ④ 人のつながりをつくりだす

- 山東には子どもがいるし、若い親もいるということ。ただし、昔から住んでいる人とのつながりがなく、お祭りなどにも参加していない。
- お葬式など昔ながらの風習やしきたりに沿ったやり方でなくなってきて、近所の協力もしなくなってきた。
- 昔からのコミュニティは、どうしても閉鎖的に見えてしまうもの。今の時代にあった、新しい人へのアプローチを真剣に考える必要がある。例えば、積極的なお誘いなど。
- 顔を合わせる機会があって、その中で昔の話で盛り上がると、自然に地域の歴史などを共有していきける。今はLINEなどでやりとりするが、そういう話しをする時間が減ってきてしまっている。  
(取り組みのアイデア)
- 新しい人と昔から住んでいる人が、他愛ない話しができるような機会をつくりだす。閉鎖的でない雰囲気。気軽に来てもらうような工夫が大事で、それは要検討。

#### ⑤ まちづくりの原動力を生み出す

- 山東を訪れる人と関わったり、もてなしたりすることは、外の人と触れ合ういい機会。まちづくりをやっていく力になる。  
(取り組みのアイデア)
- 農業体験と観光を組み合わせたり、農家レストランをするなど、山東らしいものを活かして、外の人をもてなす。
- インターチェンジができるし、きのくに国体もあるので、そういうチャンスを捉えて取り組んでいきたい。

### B班

#### ① 田舎（盆地や田園）の風景

- 山東といえばやはり田園の風景である。
- みかん畑は昔もっとあったのに減ってきてしまった。
- 盆地があり、その周りに山があるのが、山東ならではの風景だと思う。
- 貴志川線に乗ってきて、山東に入ると突然開けた風景が目の前に広がる。近くに住んでいても、これを見るとすごいなと思う。
- 外の人に来ていいな、と思うのは田舎の風景。そういう風景を守っていかなければならない。



- ・農地は他の地域より残っていると思う。住んでいる者からすると、農地は誰かが守っていかなければならないものではなく、自然に受け継いでいくものだと思っている。

## ② 景観スポット（見本）のある風景

- ・山東駅周辺をきれいにしたい。
- ・貴志川線に乗ってくる観光客が多いので、貴志川線の駅周辺をきれいにし、見本となるようなスポットを作っていくのはどうか。  
(取り組みのアイデア)
- ・山東の名産である竹を使って、駅をきれいに飾るのはどうか。

## ③ 地のものを活かした風景

- ・山東は、昔の良さが他の地域よりも残っていると思う。こういう良さをこれからも大切にし、守っていききたい。
- ・景色は変わっていくものである。しかし、住宅など、無秩序ではなく統一感を持った変化をしてほしいと思うものもある。
- ・社会の変化、家族のあり方の変化によって、変わってしまうのはとめられないこと。でも違和感を感じる。
- ・奇抜な看板が気になる。山東の風景に合うようなものにしてほしい。

## ④ おもてなしの風景

- ・山東は良くも悪くも閉鎖的な地域だと感じる。観光客が増えてきているので、もっと人を受け入れるように意識をしてもいいと思う。  
(取り組みのアイデア)
- ・年に1回ぐらいならオープンガーデンをやってもいい。年に1回もてなすぐらいだったらやれると思う。そういったものをしてほしいと思っている人は他にもいると思う。

## ⑤ 営みのある風景

- ・山東は、地縁や血縁のつながりが深い地域である。こういったつながりは、これからも意識的に残していきたい。
- ・自治会の懇親会を始めた。こういう集まりをやるのは非常に良いこと。
- ・外から来た人同士では養子会というものを組んでいる。
- ・近所の人同士や観光客同士、みんながあいさつし合うような地域がいい。
- ・立ち話している人、農作業をしている人など、人が見える風景はとても良いと思う。そういう風景のある地域であってほしい。

## C班

### ① 「あたりまえ」はあたりまえじゃない

- ・山東の良さは確かに存在する。貴志川線、四季の郷公園を拠点に、線、面に拡げていきたい。

- 外からの評価、見方を変えれば、あたりまえの風景も魅力がある。持てる良さを再確認し、外より評価してもらおう。

(取り組みのアイデア)

- 写真や絵、俳句の会などの発表を貴志川線でやってもらったらどうか。
- 「日本一短い手紙」のような形で募集してはどうか。
- 通りの名前をつけたらどうか。「～通り」「～小路」など。
- 盆地を強く出せる取り組みが出来ないか。「盆地サミット」など。



## ② 横のつながりが大切、大事

- 横のつながりを大切にしたい。子ども、青年、大人、老人…みんなで守る山東を次世代に。
- 山東の「リピーター」を増やしたい。

(取り組みのアイデア)

- つながりは祭りがキーワードになる。
- 風景づくりはあいさつからつながっていくかも。そこから人の輪が生まれる。声をかけたら暖かい雰囲気、親しみが生まれる。
- 声かけ運動から始める。「おはよう」「こんにちは」「ようこそ」「Hello, welcome!」

## ③ 見どころ一杯、おもてなし山東！！海外からも

- 風景の見どころ、四季の見どころが山東にはたくさんある。いろんな神様を祀った神社があちこちにある。遠くからも訪れる。
- 海外からの観光客が大半なのにもったいない（取り逃がしている）。
- 世代を超えて山東に来てほしい。特に子どもたち（＝未来）。
- 地元も来訪者も楽しいイベントでもてなし、交流したい。

(取り組みのアイデア)

- もう少し親切に来訪者をおもてなしするために、コースや案内板などを充実させる。
- 看板も他言語で紹介する。
- 地図で春夏秋冬のコースを作る。1時間、3時間、4時間コースなど。
- ハイキング、ジョギング、ウォーキング、自転車などのコースを紹介する。大人向け、子ども向けなどターゲットも意識して。消費カロリーなどが分かれば健康にも良いかも。昔は鶏冠山～大池まで歩けるコースがあった。(みかんの里、竹の里コース)
- 風景の見どころポイント(写真のシャッターチャンスポイントなど)、四季の見どころポイント(桜など)を作成してはどうか。
- 来訪者に「トイレを自由にお使いください」と開放する取り組み、「みかんをご自由にお召し上がりください」といった取り組みができないか。
- 統一したプランターなどでそれぞれの庭先などに設置してもてなす(お庭、自宅、駅など)。海南・藤白の方では熊野古道のちょうちんを掲げている。

- ・ 駅やお店や神社・お寺も含め、庭先の開放、おもてなし（＝出来ることで）。それぞれ無理なく、オープンガーデンのような形で。

#### ④ 美味しい風景あります、山東

- ・ 山東は四季を通していろんな農産物が取れる（四季を通してお金儲けが出来る）。みんな農業をしっかりとやっている。それらが「山東ブランド」になっていけば良い。
- ・ 最終的に「住みたい」「誇りに思える」まちになっていけば良い。  
（取り組みのアイデア）
- ・ きのくに国体に関連づけ、健康増進などを PR できないか。

#### ⑤ みんな、引っ張り込め！！巻き込め！！

- ・ 良いこと、良いアイデアがあっても、個々の限界がある。束ねていくには事務局・とりまとめ役が必要。
- ・ 山東まちづくりの会が起爆剤になってたくさんの人を呼び込んでいる。この動きを大切に、応援していかねばならない。
- ・ 山東に住んでいる人の意識の向上が大事。  
（取り組みのアイデア）
- ・ 山東の住民がどう思っているのか、アンケートを採ってみてはどうか。
- ・ 山東内の全自治会が一同に集まる場があっても良い。

### 発表／参加者一人一人のお話

各グループのメンバーが、話し合った内容を発表しました。その後、参加者の皆さんにこれから取り組んでいきたいことや、ワークショップの感想などを発表していただきました。

#### ◆参加者一人一人のお話（概要）

- ・ 「知行合一」という言葉をよく言われてきた。知ったら行動をしなければならないと思っている。ワークショップでいろいろなアイデアが出て、山東には熱心に活動している人もたくさんいる。後は行動あるのみだと思う。
- ・ 来るたびに山東の良さがわかったので、参加して本当に良かった。外の人のお話を聞いたことも良かった。
- ・ 新しい発見がたくさんあり、人との出会いもあった。
- ・ 外の人に山東って良いところだよ、といえるまちづくりができればいい。あたりまえのものが実はとても大切なものだったということがわかった。
- ・ 廃れてしまったお祭りがいくつかあるので、これらを掘り起こして、昔の山東のにぎわいを取り戻すようなことをしたい。今の時代に合ったもの、今の時代に必要なものを考え、みんなに知恵をもらいながら、新しいものも作り出していきたい。
- ・ 山東を愛する気持ちが一番重要だと思った。自然豊かなふるさとそのものに価値がある。
- ・ 山東の風景を守りたいというみんなの想いに、私は農業をやることで貢献していきたい。山東で幸せに楽しく暮らしているので、みんなもそうであってほしいと思う。

- 水辺の風景を大切にしていきたい。守っていけるよう、機会があれば言っていきたい。
- 他地域と比べて変化が少なく、昔からの習慣も色濃く残っていることを誇りに思う。個人的にもこういった習慣を大切にしていきたい。
- 山東というと閉鎖的なイメージがあったが、このように地域のために立ち上がってくれる人たちがいて、本当に嬉しく思う。
- 私自身は人と人をつなぐ、地域と地域をつなぐ、ということをずっとやっていきたいと思う。来年度は、もっとたくさんの市民で山東の風景について考え、何か取り組んでいくことができればいいと思う。
- 最後はやはり人だと思う。この場に参加していただいた皆さんに、一人でも多くの友達に自分の想いを言っていきたい。それが広がっていったら、もっと山東は良くなっていくと思う。この5回で終わりではなく、山東が良くなる新しいことを皆さんとまたやっていけたらいいと思う。

## おわりに

市の都市整備課の飯澤副課長から、ワークショップ最終回のお礼がありました。

- いろいろな資源、課題も出ましたが、これらを見直しながら、皆さんがこのワークショップで議論されたようなことが、これからも続いていくことを期待しています。
- 山東百景やフォトコンテストなど様々なアイデアが出されていました。地域の「資産」がたくさん出るの素晴らしいことです。百と言わず、どんどん出してほしいと思います。
- 山東は世代のバランスが良い地域ですので、このような話し合いの場を続けて、地域に広げていき、山東の風景をみんなで守ってほしいと思います。5回にわたり、皆さんありがとうございました。

最後に、山東まちづくり会の吉田さんから、今後の予定についてお知らせがありました。

これからこのワークショップで話し合ったことをまとめ、3月には山東の皆さんに知ってもらうための報告会を行う予定です。

### ●事務局・問い合わせ先

和歌山市 まちづくり局 都市計画部 都市整備課

〒640-8511 和歌山市七番丁 23 番地

Tel : 073-435-1082 Fax : 073-435-1367 E-mail : toshiseibi@city.wakayama.lg.jp